

# 第42回全国学童保育研究集会 in 東京 2007年11月10・11日

●全体会(10日[土]):国技館 ●分科会(11日[日]):中央大学(多摩キャンパス)&明星大学(日野キャンパス)

## TOKYO全国研まで、あと141日

# どすくろい! vol.3

2007.Jun.

東京実行委員会事務局●2007年6月23日発行

Gakudo Renkyo Communication Issue ( TOKYO ZENKOKUKEN HEND MIGHI DOSUKOI! )



### COLUMN TOKYO全国研への取り組み

## 「東西! トーザイ!」

わたしたち、  
こーんなかんじで  
取り組んでいます!  
ご参考まで

#### ◆はっけふーの「小平市」

##### 1. 全国研担当役員4名配置

いままでなかった渉外担当をつくり、かつその中で全国研担当決めました。会長・副会長以外の役員を巻き込んで宣伝啓蒙活動をしてもらいます。

##### 2. 全国研の参加費を予算化

父母連2007年度予算から105,000円を全国研参加費として計上しました。

また、今後は各世帯200円のカンパを集め、210000円を確保する予定です。

当日のスタッフには全額補助し、参加するのみの方には1500円程度の補助を出す予定にしています。

##### 3. 宣伝活動

DVDの総会での上映、会長会での上映、ポスターの全世帯配布を検討しております。また、あわせて保育誌も宣伝しております。

##### 4. 当日スタッフ

現在44名の父母連役員は全員当日の実務スタッフとして参加します。残り100名を各クラブから5名以上の参加を呼びかけます。

##### 5. 後援名義使用許可

三多摩(東京都?)1番のりで後援名義使用の申請が降りたことをアピールして、市議会議員や学校関係者にも呼びかけをしてみます。

#### ◆かったーや「東村山市」

##### 1. 参加目標

- 参加スタッフ:最低80人!
- 当日スタッフ:最低20人(16学童1人ずつ+学保連役員+α)  
現在の希望は、千秋楽の教室係:6/2の運営委員会にて第一弾の説明済み。  
各学童での人員確保を依頼中
- 実行委員3人  
上記以外には別枠で3名が実行委員として働く予定(働かせて頂きます)

##### 2. 当日までに行う予定の取り組み

- 6/17に会長会実施:DVD上映し、『全国研ってなあに?』のミニ勉強会実施予定
- 7/7定例の学保連運営委員会にて、各学童の渉外・学保連担当にもDVD上映会実施

##### 3. 全国研の参加費を予算化

全国研のための予算:19万予算化済み。当日スタッフの参加費は全額負担の方針、残りの金額を参加スタッフへの一部補助にする予定です。不足分については、各学童の保護者会・父母会に補助追加の協力依頼を行う予定(補正予算やカンパ

とか)。既に予算化している保護者会もあります。

##### 4. 後援依頼:東村山市長と教育委員会に後援依頼しました。

I)5/25に申請:教育委員会に書類不足等々指摘され、玉砕!当市は大〜変!申請者は三多摩連協・林組長名でないとダメとか、東村山学保連の役員名簿&約款必須とか、都の後援証明書必要とか、去年の愛知の後援リストいるとか、とにかく添付書類の山、山…。

II)6/11に再申請:全体会の講師、松崎氏の経歴を出せとかいわれましたが、無事に申請が許可されました!

#### ◆みあって、みあって〜「武蔵野市」

武蔵野では予算、組織体制に両面から全国研に向けて体制を整えています。また、DVD作戦および会長会でのアピールも実施するなど、目標達成に向けて着々と動き出しています。各クラブでも交通費を父母会で予算化しているところも数カ所あるようです。以下が具体案です。

##### <予算面>

●予算19万円を全国研に計上。当日実務スタッフに関しては、各クラブから1〜2名出して、20名前後を予定しているのですが、全額学童協負担とするつもりです。(20名×3500=70,000円)。また、残り12万について、参加者1名あたり1500円補助を出して、80名は2000円で参加できるようにすることで、合計100名の動員をめざしています。ただ、武蔵野市の目標は120名なので、あと20名必要となりますが、指導員とOBに協力をあおいで目標達成したいと思っています。



20名(当日実務スタッフ=全額補助)+80名(一般参加=部分補助)+20名(OB・指導員)=120名(目標達成!)

※交通費を予算化しているクラブもあるので、採り入れていない各クラブへも働きかけていきます。

##### <組織面>

●役割分担でも地元東京開催にも向けて特別に編成しました。まず、副会長(全国研担当役員)を設けるとともに、この役員を中心に2つのクラブに全国研担当部を組織して、動員および当日実務スタッフを集めるうえで協力してもらおうつもりです。

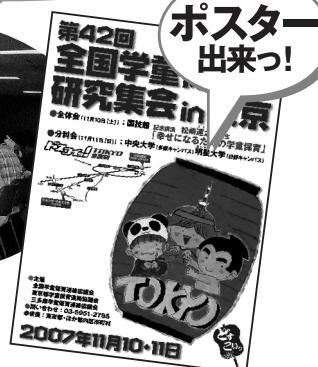
##### <DVD作戦&会長会>

●4月の定例会、5月の総会と連続してDVDを上映。全クラブにDVDを配付して閲覧してもらいモチベーションの底上げをめざしています。各クラブから要請があれば各クラブの役員会での説明も行う予定です。また、8月上旬には会長会を開いて、意識付けを図っていこうと考えています。

## TOKYO 全国研・実行委員会スケジュール

実行委員会	日 程	会 場	内容/備考
■ 第1回	3/11(日) 13:30~	新宿・農協会館	実行委員会体制・他
■ 第2回	4/28(土) 18:30~	中野区勤労福祉会館	開催地の取り組み
■ 第3回	5/27(日) 14:00~	豊島清掃事務所	都連協・指導員学校(20)
□ 第4回	6/23(土) 18:30~	新宿・農協会館	指導員学校(3)・三多摩総会(24)
□ 下見	7/28(土) 14:00~	両国国技館	都連協・研究集会(8)
□ 第5回	7/28(土) 18:30~	未定	
□ 下見	8/25(土) 未定	中央大学・明星大学	
□ 第6回	8/25(土) 18:30~	未定	
□ 第7回	9/22(土) 18:30~	未定	都連協総会
□ 第8回	10/27(土) 18:30~	未定	

おみやげ&歓迎行事  
アイデア大募集中!



◆「高学年の子どもの生活」の分科会に参加しました。イベントや行事も大切ですが、高学年にも居場所としてホッとできる学童保育になるためには、毎日の少しずつの積み重ねが大切なのではないでしょうか。(名古屋市長 保護者)

◆2005年4月から指導員となり、保育や運営の不安をかかえ、自信を失いそうになりながらの日々をおくっていました。しかし、全国の方々のがんばりや苦勞を知り、私だってがんばれる、いろんなことを吸収して成長したい、やっぱり指導員になってよかったと強く感じる事ができました。(横浜市 指導員)

◆「子どもにやさしい学童保育の施設を」。子どもにとって何が大切なのか、真剣に考える必要を強く感じました。まずは、自分の地域で保護者と指導員そして地域の方々と連携し、考え、よりよい学童保育を作り上げていきたいです。違う立場でお互い考え合い、学童保育を作り上げていくことが必要ですね。やはり全国研と感動しました。(埼玉県所沢市 指導員)



◆上玉利ひろみさんの特

別報告を聞いて、学童保育をこんなにも

信頼し、大切に思ってくれている親がいることをう

れしく思いました。また、岡村美由紀さんの報告に、指導員として、「つらい時、そばにいるよ」というメッセージを送り続けることの大切さに気付かされました。私も、子どもたちがつらいとき、この人は心の中で応援してくれていると感じてもらえるような指導員になりたいです。

(さいたま市 指導員)

◆「来年、全国研に行ってみよう！」と言った私の言葉を覚えてくれた保護者の方々の後押しで、初めて県外の全国研に参加しました。『全児童対策事業』と学童保育』の分科会に参加し、学童保育について十分に理解がなされていないと、「全児童対策事業」と学童保育が一本化されてしまう、という危機感をあらためて感じました。交流会では他県の方のパワーをもらい、充実した二日間でした。(神奈川県横須賀市 指導員)

## 各地域でこうやってススめよう！ これが、全国研のレコメンドポイント

### 1. 全国の学童仲間と出会い、交流できる！

全国の学童父母・指導員・行政関係者が集う6000人規模の年に一度の大イベント。初日夜の懇親会では全国の仲間と交流できます。

### 2. 夜間中学の松崎運之助先生の記念講演に感動！

記念講演の講師は、山田洋次監督の映画「学校」のモデルとなった松崎運之助先生。先生の生い立ちや夜間中学の話は涙なしには聞けません。

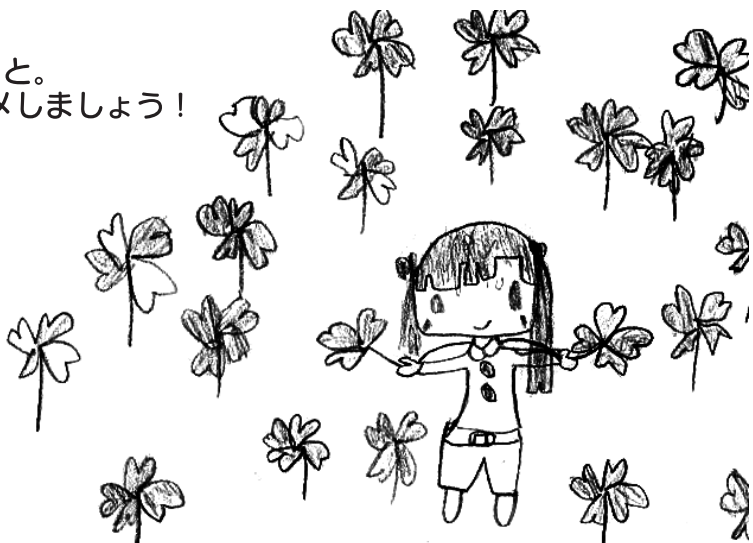
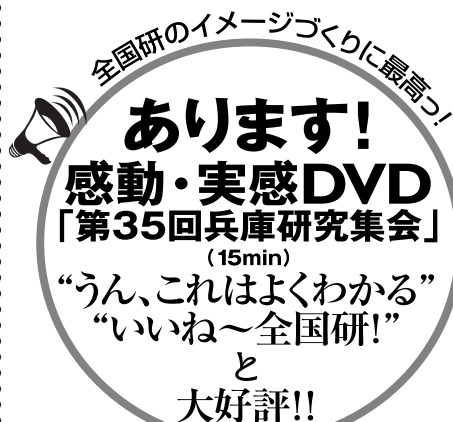
### 3. 2日間の学習を通して、学童保育の魅力をもっと知る！

2日めは、学童保育や子どもについての分科会が盛りだくさん。今後の各地で活動する上での力を与えてくれます。

### 4. 国技館のマス席に座れるチャンス！ 保育は支度部屋や行司控え室です。

国技館で開かれる全国研だから、普段テレビでしか見れない場所にも行けちゃうかもしれません。

※説得よりも体験してもらうこと。  
DVDなどを活用してオススメしましょう！



## 松崎先生を読もう！

『学校 ～夜間中学はなんであるのか、誰がつくったか、げんいんは何かほくは知りたい～』

——松崎運之助、(晩聲社)を読んで

武蔵野市学童協 副会長 黒木泰二郎

#### ■見出し

学童保育と夜間中学は、まさに兄弟運動で支えられてきた社会に不可欠な存在

#### ■本文

夜間中学とは何でしょうか。この本によると、「諸事情により義務教育を修了できなかった者で、中学校教育を希望する者に教育の機会を提供するための教育機関」とあります。実際には、中学校でありながら、読みかきや計算など小学校レベルの教育が行われているのが現状で、近年では外国籍や元不登校の生徒も増えてきているそうです。日本の高い識字率は、こうした夜間中学関係者の地道な努力も背景にあるといっても過言ではないでしょう。

文部科学省は、「夜間の授業は臨時的措置であり、学校教育法そのものが想定しているものではない」という趣旨で法制化を認めていません。しかし、夜間中学の卒業生たちが、廃止反対・設置要求、証言映画上映などの運動をねばり強く続けてきた結果、ついに、文部科学省も夜間中学を生涯教育の一環として位置づけ、財政補助(小額ですが)を行うことになったそうです。

2004年の時点で、公立の夜間中学校の数は35校、生徒数は約3000人。首都圏・関西圏に集中しているため、全国各地で20校ほどの「自主夜間中学」が有志で運営されています。まさに夜間中学は、学童保育同様、運動によって支えられてきた、社会になくてはならない存在だといえるでしょう。